



Saica NEWS

Saitama international cooperation action News

2019
Vol.4



JICA技術協力プロジェクト 中村短期専門家帰任



2020年1月6日からJICA技術協力プロジェクト(MaWaSU2)の水質分野の短期専門家として派遣されていた水質管理課 中村係長が約2.5ヶ月間にわたるラオスでの活動を無事に終え、3月21日に帰任しました。今回は、派遣者ご本人に現地での状況、短期専門家を目指す方へのメッセージを投稿していただきました。

～MaWaSU2 短期専門家の活動～

私の活動内容は、主に①水質データの分析能力向上、②水質管理フレームワークの作成支援でした。両方とも3つの水道公社(首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県)の各水質担当者と共に業務に取り組みました。具体的には、水安全計画に関する資料を作成し、OJT内でケーススタディを実施しました(①)。また担当者にヒアリングをして要望を聞き、水質業務の疑問点(社会問題となっている環境水の農薬汚染など)について説明をしました。ラオスでは2014年に省令で水質基準が制定されましたが、現在それは遵守されていません。そこで、省令の趣旨に沿った水質管理業務を解説した「水質管理フレームワーク」という名前のガイドラインを担当者と共に作成しました(②)。ラオス人の業務に対する姿勢や物事の捉え方は、必ずしも日本人と同一ではないので、その国の文化や習慣をまずは理解して、相手のペースに合わせて業務を急がず遂行することが大事だと感じました。



水質担当者との検討部会



保健省との会議



ラオス-日本水道 & MaWaSU2 カンファレンス2020



業務部 朝比奈次長、維持管理課 石川係長

2020年1月28日～30日に首都ビエンチャンで開催されたカンファレンスに当局から業務部 朝比奈次長、給水部維持管理課 石川係長の2名が参加しました。カンファレンスは、一年半経過したJICA技術協力プロジェクト(Mawasu2)の活動成果を関係者に周知することと、ラオス水道界に日本企業の技術をPRすることを目的としたもので、日本からは厚生労働省他水道関係者44名、ラオスからは公共事業運輸省他水道関係者148名の計192名が参加し、盛大に開催されました。

当局からは、朝比奈次長より挨拶をした後、石川係長より本市水道事業の概要、国際貢献事業のあゆみ、国際貢献事業の実施状況、今後の展開について発表を行いました。



カンファレンス参加者の集合写真



挨拶・発表状況

●JICA技術協力プロジェクトの詳細は

MaWaSU1 ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>

MaWaSU2 ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html>

発行：さいたま市水道局
業務部経営企画課経営企画係
TEL 048-714-3185